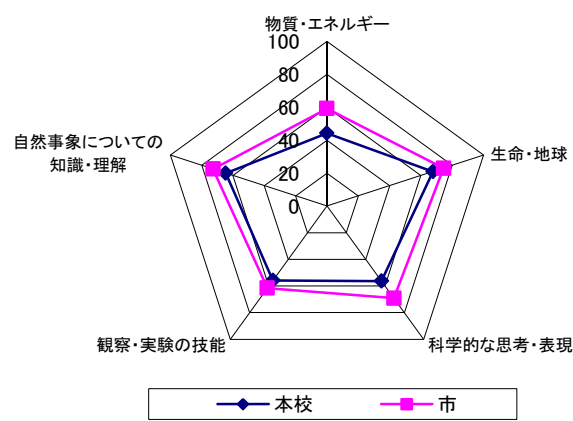


宇都宮市立上河内東小学校 第5学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	44.3	59.3
	生命・地球	67.7	74.4
観点別	科学的な思考・表現	56.3	69.2
	観察・実験の技能	55.9	61.6
	自然事象についての知識・理解	64.6	72.7



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	・平均正答率は、44.3%と市の平均を15ポイント下回った。特に、ものの体積と温度との関係や水を冷やすと体積が増えることについての理解が不十分であった。	・4年生で学習した内容をもう一度、学習プリントなどで復習し、学習内容の定着を図る。
生命・地球	・平均正答率は、67.7%と市の平均を6.7ポイント下回った。発芽にでんぷんが使われた理由を、文章で書く問題の正答率が低かった。顕微鏡の倍率を求める問題や、気象衛星の雲の画像から、アメダスの雨量情報を表す図を指摘する問題の正答率が低かった。台風の発生場所と進路や山の中を流れる川のようにすについての理解が不十分であった。	・発芽にでんぷんが使われるということは理解しているが、そのために種がしぼんだということについて結びついていない。もう一度デジタル教材などで復習させる。実際に顕微鏡を操作することでその仕組みをもう一度確認する。気象に関する内容については、新聞やTVの気象情報などと結びつけてもう一度指導をする。